

【執筆者紹介】

河合 克義 (かわい かつよし)

1949年 北海道生まれ

明治学院大学大学院社会学研究科社会学・社会福祉学専攻博士課程修了(専攻は地域福祉論)。フランス ナンシー大学社会学研究所客員研究員(1981~82年)、明治学院大学社会学部長・副学長を歴任。現在、明治学院大学大学院社会学研究科主任教授。

港区政策創造研究所初代所長、総務省「今後の都市部におけるコミュニティのあり方に関する研究会」座長(2012~14年)、同「都市部におけるコミュニティの発展方策に関する研究会」座長(2014~15年)、内閣府「地域活動における男女共同参画に関する実践的調査研究検討会」座長(2016~17年)を歴任。現在、葛飾区介護保険事業審議会会長、港区地域包括ケアシステム推進会議委員長、東京都生活協同組合連合会理事などの職にある。

【主な調査】

- 『東京都港区におけるひとり暮らし高齢者の生活と社会的孤立に関する調査報告書—地域ネットワークの新たな展開を求めて—』港区社会福祉協議会, 1995年
- 『港区におけるひとり暮らし高齢者の生活実態と社会的孤立に関する調査報告書』東京都港区社会福祉協議会, 2006年
- 『千葉県君津市における高齢者二人世帯の生活と意識に関する調査報告書』君津市社会福祉協議会, 2010年
- 『港区におけるひとり暮らし高齢者の生活と意識に関する調査報告書』港区政策創造研究所, 2012年
- 『山形県におけるひとり暮らし高齢者の生活と意識に関する調査報告書』山形県民生委員児童委員協議会, 2012年
- 『港区における75歳以上高齢者を含む2人世帯の生活に関する調査報告書』港区政策創造研究所, 2013年

【主な著書】

- 『大都市のひとり暮らし高齢者と社会的孤立』法律文化社, 2009年
- 『福祉論研究の地平—論点と再構築』(編著)法律文化社, 2012年
- 『社会的孤立問題への挑戦』(共編著)法律文化社, 2013年
- 『老人に冷たい国・日本—「貧困と社会的孤立」の現実』光文社新書, 2015年

長谷川 博康 (はせがわ ひろやす)

1970年 兵庫県生まれ

神戸大学大学院経済学研究科博士前期課程修了。

SPSS株式会社, ボードフォン株式会社, ソフトバンクモバイル株式会社, エクスペリアンジャパン株式会社とデータ分析を行う。現在, 独立し(株式会社スタテックス代表)多くの企業で統計解析やデータマイニング, それらの教育, 分析のコンサルティングを行う。その傍ら, 港区政策創造研究所特任研究員, 明治学院大学大学院非常勤講師を務める。

【主な調査】

- 『港区におけるひとり暮らし高齢者の生活と意識に関する調査報告書』港区政策創造研究所, 2012年
- 『港区における75歳以上高齢者を含む2人世帯の生活に関する調査報告書』港区政策創造研究所, 2013年
- 『港区における子どもと子育て家庭の生活と意識に関する調査報告書』港区政策創造研究所, 2014年

【主な著書】

- 『すぐに使えるSPSSによるデータ処理Q&A』(共著)東京図書, 2002年